



上野乗務ベース発足に伴う 団体交渉の報告・意見交換会を実施

施策提案以降、アンケートの実施や、関係組合員との意見交換を数回に渡って開催してきました。

5月の解明交渉、6月の基本交渉には職場の組合員にも出席していただき、あらゆる問題提起や要求を行い、**職場の組合員を置き去りにせず、施策について組合員とともに会社と正面から議論を行うことができました。**この間の地本へのご協力ありがとうございました。



8月12日に上野乗務ベースの組合員に集まって頂き団体交渉の報告、意見交換会を行いました。この間の会社との議論経過、教育スケジュールに対する地本としての考えや**団体交渉の成果と重要性について共有し、線見期間中の駅兼務は組合として認めていないことや、施策実施後の変化に対しても、組合員・社員の意見を尊重した労使議論を適宜行っていく意思統一を行い、今後も組合員・社員が働きやすい職場を目指していくことを確認しました。**

意見交換出された主な意見

- ・2回の団体交渉を通して、**施策に対して会社と労使議論**できたことは東労組としての成果である。
- ・統合後、運転士の車掌兼務が加速している。車掌が足りていないのでその対策ではないか。
- ・田端の乗務員30人が全員予備(交番外)。旧上野の運転士は4人しか予備(交番外)がいらない。運転士でも休日出勤も発生している。**現在も車掌の要員は特に足りていない。**

《駅兼務と融合行路について》

- ・必要な教育訓練をされた記憶はない。期間内に覚えてくださいと言う雰囲気。その後も月1回入る程度。それでは業務の質を保てない。**業務知識が定着せず、駅兼務は心理的に安心して仕事ができない。**
- ・田端オフィスにおける管理者と社員のコミュニケーション不足について、**会社**に**職場実態の把握を求め、一部だが会社に事実を認めさせることができた。**
- ・今は臨時の線見にも力を入れている。誰もが同じ仕事ができることを目指しているのではないか。
- ・**ロッカーの増備等設備面や今後も会社に求めていくことが重要。**
- ・旧田端運所や尾久車セの樹木の伐採・除草は今後の課題。業者に依頼できないか。



JR 東労組東京地本は、あらゆる施策に対して、
会社と真摯に議論し「**安全・健康・ゆとり・働きがい**」
のある職場環境を創り出します！